

進路便り

令和7年 9月11日
北陽中学校 進路係
第 23 号

第2回進路希望調査について

「第2回進路希望調査」を行います。前回との変更点は、志望高校の記入欄に「道外の高校」の欄を増やしたことと、札幌第一高校のコース名に変更があったことの2点です。それ以外は「第1回進路希望調査」と同じです。新しいコード番号表は、進路のクラスルームに載せています。前は、コードNo.が未記入だったり、コードNo.と学校名やコース名が異なっている人が多数いました。番号や学校名・コース名を間違えないように注意してください。また、推薦を考えている場合は、記入欄に推薦を希望していることとその理由を必ず書いてください。保護者や家族などとしっかり相談した上で記入し、9月18日(木)までに提出してください。

前回は書きましたが、「進路希望調査」など進路関係の提出書類は、正式な書類を書く練習でもあります。記入上の注意をよく読み、期日を守って提出するようにしてください。指示通りに記入していなかったり、雑に書いて字が読めなかったりすると受け取ってもらえない場合もあります。

<進路希望調査記入上の注意>

- 高校へ提出する書類のつもりで、必ず黒のボールペンまたはサインペンで記入してください。鉛筆やフリクションペン(消せるボールペン)は正式な書類では認められません。
- 保護者署名と保護者記入欄以外は、生徒本人が記入してください。
- 署名は本人・保護者とも『楷書』で、戸籍と同じ字体で記入してください。
- 学校名や学科、コース名は、『主な高校名一覧』に載っている場合は、その名称(略称)を記入して構いません。その際、コードNo.を記入するのを忘れないでください。載っていない高校等を希望する場合は、コードNo.欄は空欄にし、その学校の名称を間違えないように記入してください。
- 文字を間違えてしまった場合、修正テープなどは使わず、間違えた部分に二重線を引き、空いている場所に書き直しましょう。(願書等の公文書では、二重線を引いた後、その上から訂正印を押します)

新川
例 札幌~~北陵~~

<保護者のみなさまへ>

「進路希望調査」には、保護者署名欄があります。これは、お子様が記入した内容を、保護者の方が確認(承認)したことを表す意味での署名となっておりますので、必ず保護者の方が記入してください。また、現時点で、お子様の考えと保護者の方の考えが異なっている場合は、保護者記入欄にご家庭での話し合いの様子などを記入していただけたらと思います。

◇効率の悪いNG勉強法4選

先週、今週とテストが続きました。しっかりと家庭学習をしているのに、なかなか結果につながらないという人もいます。自分の学習方法に改善できる点はないか、参考にしてください。

①作業しただけで勉強したと思ってしまう

「ノートまとめ」「教科書に線を引く作業」「単語帳を作る作業」。この作業だけで満足してしまっている場合は要注意です。作業をすると、内容が頭に入る場合もあります。ただ、作業が目的になってしまうと効果が薄れる可能性もあります。これだと、時間ばかりかかって学習の内容が身につけません。さらに、アウトプットが足りないため実践力がつかず、知識も定着しづらいのです。作業だけに一生懸命になるのではなく、問題演習をして知識をしっかりと身につけ、実践力をつけましょう。手を動かすだけでなく、頭を働かせることが大切です。

②問題を解きっ放しにしている

問題演習をしてわからないところや間違えたところがあったとき、どうしていますか？もし、「なぜ間違えたか」「どこがわからなかったか」を解決していないのであれば、要注意です。これだと、理解できていない部分がそのままになり、いつまでも同じところでつまづくことに。その結果、効率が悪くなってしまいます。わからなかったところや間違えたところは、解説を読んだり学校や塾で質問したりして、確実に解消しておきましょう。また、つまづいたポイントが解決したら、再度同じ問題を解き直すことも重要です。これにより、理解できたかどうかをチェックすることができます。問題演習と解き直しを繰り返すことで、解法や知識がしっかり身についてきます。一見地道な作業ですが、結果的にこちらの方が効率的。問題を解く際は、自分自身でフィードバックすることが大切なのです。

③暗記を避けようとしている

暗記をしないとできない問題もあります。「暗記は効率が悪い」と思っている人もいるかもしれませんが、避けてばかりはNG。覚えていないポイントでいつもつまづくことになるため、非効率です。たとえば英語や古文。これらの教科は、単語を覚えなくてもある程度推測できるという側面があります。ただ、毎回推測するよりも意味を覚えていた方が問題を解く際に効率が良いですね。正しい意味を覚える方が正確性も上がり、確実に知識が身につきます。「なんとなく推測できるから」というやり方は改めた方が良いでしょう。また、一見暗記が不要だと思われる数学や算数でも、解法や公式を覚える必要があります。解法を覚えることを避けていると、毎回時間をかけて解法をひねり出すことに。これでは非効率ですね。最低限の英単語・古文単語や、数学・算数の基礎的な解法は、積極的に暗記するようにしましょう。

④一度で全部覚えようとしている

一度にすべて覚えようとしても記憶が定着しません。かえって時間がかかってしまい、非効率になります。記憶の定着には反復が重要なのです。単語帳やテキストの内容を一度で全部覚えようとして、じっくり通読する人もいます。しかし、一度で覚えるのは難しいもの。暗記すべき内容は、繰り返し見直して覚えるようにしましょう。数学などの解法についても、同じ問題を2～3回繰り返すことで定着するようになります。